

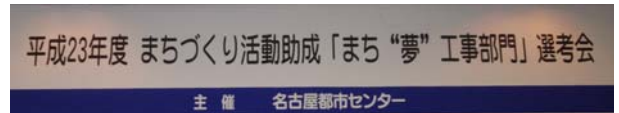
平成23年度「まち“夢”工事部門」選考会の様子

■日時 平成23年7月10日(日)10時～14時00分
■会場 名古屋都市センター・ホール(金山南ビル11階)



9:30 受付開始

発表団体関係者13名、一般参加者1名の参加がありました。今年は、申請団体が4団体ありました。応募団体の皆さんには9時40分に集合していただきました。事務局からプレゼンテーションの進め方の説明があり、各団体ともスタンバイOKです。今回が初めてのプレゼンという団体もあり、少し緊張気味でした。



受付



開会前の様子

10:00 開会

名古屋都市センターまちづくり相談幹の司会で、選考会が開会しました。はじめに、名古屋都市センター事業部長からあいさつがありました。



名古屋都市センターまちづくり相談幹



本日は、まちづくり活動助成の「まち“夢”工事部門」の応募のありました4団体につきまして、公開審査による選考を行います。活発な皆さんの提案と質疑で、選考会を盛り上げていただきたいと、お願いをしまして私の挨拶とさせていただきます。

名古屋都市センター事業部長あいさつ

まちづくり基金運用委員会の委員(6名)を紹介

選考会に当たっては、事前に申請書を熟読の上、臨みました。



10:05 応募団体による発表・質疑応答

各団体5分の持ち時間で、申請書の提案内容について、発表していただいた後、まちづくり基金運用委員との質疑応答を行いました。

タイムキーパーは、発表に際しては時間表示をして、公平な発表を心がけました。来場者にも提案内容をできるかぎり公表し、会場で資料を配布しました。

【会場で配布した資料】

- 当日のプログラム、選考方法説明資料
 - 各団体からの提案内容(申請者名、住所、事業費等除く)
- ※会場では、チラシ等の配布は禁止です。



プレゼンテーションする申請者(4団体)

11:00 休憩、委員による1次投票

1次投票は、第1次通過団体を選考するために行いました。

投票結果を集計する
事務局



11:40 1次投票の結果公表、質疑

休憩終了後、1次通過団体を発表！

全ての団体は1次通過となりました。

基金運用委員から次々と厳しい質問が出されます。

応募団体の皆さんもここが正念場と熱い思いを語ります。

平成23年度 まちづくり活動助成「まち”夢”工事部門」1次通過団体

No.	団体名称	1次通過団体
1	いのちの理・あいち	<input checked="" type="radio"/>
2	かんでら monzen 亭	<input type="radio"/>
3	東出町内会	<input checked="" type="radio"/>
4	中川運河チャンネルアート実行委員会	<input type="radio"/>

12:20 休憩、各委員による投票

再質疑を終えると、いよいよ皆さんの前で投票です。

各委員には、各団体の提案を、「選考にあたって重視する点」①～④の4項目すべてについて「2点」「1点」「0点」の3段階で評価をしていただきました。

<選考にあたって重視する点は以下のとおり>

.....提案内容の妥当性.....

①必要性

- ・公益性・公共性のある提案か
- ・自分たちの住んでいる地域を住みよい環境にする提案か
- ・地域の身近な課題やニーズを的確に把握しているか
- ・特定の人だけが利用する施設ではなく、地域に貢献する施設か

②独創性

- ・地域資源などを活かした個性豊かな提案か
- ・創意工夫を凝らした提案か

③実現性

- ・活動計画が具体的になっているか
- ・スケジュールは妥当か
- ・地域住民が参画して取り組んでいく予定はあるか

.....提案団体の能力.....

④活動実績と主体性

- ・提案内容につながる活動実績を有しているか
- ・自ら主体となって工事を行い、施設の維持管理をする意欲があるか

集計は、「選考にあたって重視する点」4項目の評価を点数化（2点、1点、0点）して委員の平均点を算出しました。

例えば、以下の〇〇〇団体の例では、委員7人の平均点は、7.0点となります。

<〇〇〇団体の計算例>

- ①必要性 「2点」5票 「1点」2票 「0点」0票
 - ②独創性 「2点」6票 「1点」1票 「0点」0票
 - ③実現性 「2点」6票 「1点」1票 「0点」0票
 - ④活動実績と主体性 「2点」5票 「1点」1票 「0点」1票
- (「2点」×22票 + 「1点」×5票 + 「0点」×1票) ÷ 7人 = 7.0点

13:40 投票の結果公表

副委員長が投票の結果を発表！

原則、各委員採点の平均点が6.4点（8点満点の8割獲得）以上の団体を採用すると選考方法で発表していましたが、今年度は6.4点以上を獲得した団体はありませんでした。委員会で慎重に議論を重ねた結果、今年は採用団体無しという結果になりました。最後に、委員長から講評がありました。

平成23年度 まちづくり活動助成「まち“夢”工事部門」2次投票結果

No.	団体名称	委員の平均点 (8点満点)	選考にあたって重視する点を評価														
			計			必要性			独創性			実現性			活動実績と主体性		
			2点	1点	0点	2	1	0	2	1	0	2	1	0	2	1	0
1	いのちの環・あいち	5.67	10	4	0	5	1	0	1	5	0	4	2	0	0	6	0
2	かんでら monzen 亭	5.83	11	3	0	6	0	0	1	5	0	1	5	0	3	3	0
3	東出町内会	3.83	3	7	4	1	4	1	0	3	3	1	5	0	1	5	0
4	中川運河キャナルアート実行委員会	5.50	11	1	2	3	3	0	3	3	0	1	3	2	4	2	0



福島委員長講評

残念ながら、採用団体はありませんでした・・・

【選考会の講評】

今回申請していただいた皆様には、企画提案を提出するにあたって、多大な努力をしていただいたと思います。しかし、委員会としては、非常に残念ですが「採用団体無し」という結論を出しました。委員会では皆様に対して十分な説明責任があると感じております。

審査結果を見ていただくと、「いのちの環・あいち」「かんでら monzen 亭」「中川運河キャナルアート実行委員会」の3団体につきましては、8点満点中5点台で非常に僅差でありました。合格ラインの6.4点未満であっても、委員会が特に評価したものは採択もできるとの指針もあり、この3団体については、今回の1次選考会では全て採用とし、次回の2次選考会で3団体から2団体もしくは1団体を選考してはどうかという議論もありました。しかし、過去の合格ラインを見ると、最低でも6.00点は上回っており、採択は難しいという判断をいたしました。都市センターのこの助成は、まちづくりへの発展性(実現性を含めた)を重視しています。この観点からは、全般的にみて、皆さんの提案は十分な評価を得ることができなかつたと思います。今年度から、「まち“夢”工事部門」の制度が変わり、全体工事費の20%は自己資金として確保しないといけないことから、結果として、厳しい目で審査をせざるを得ないという事情も影響したと思います。

以下、申請団体ごとに、講評いたします。

「中川運河キャナルアート実行委員会」は、中川運河の魅力を市民に知らせ、アートによるまちづくりを通じてその可能性を提案する姿勢は高く評価しています。しかし、提案の内容に具体性がやや欠け、発展の可能性が十分に理解されませんでした。何よりも土地の借用や上下水等の利用について現時点では課題があり、事業実施を考えると高い評価を与えることができませんでした。この点を、もう少し詰めていただければと思います。

「かんでら monzen 亭」は、工事費の自己負担分を運営益から捻出していくことの見通しが見えにくく、耐震性に関しても危惧しました。東日本大震災という未曾有の震災が起こったことを考えると、耐震上問題のある建物の利用頻度を上げて、震災のリスクを高めることが本当に良いかどうか議論になりました。閉店したユニーが地域にとって非常に良い場所であり、ここを拠点に活動を展開したい気持ちはよく分かりますし、その姿勢や活動は高く評価しています。一方で、笠寺地域の一等地であるだけに再開発を促し、申請団体が笠寺の新しい場所でまちづくり運動を展開することなども検討してはどうかとの意見もありました。

「いのちの環・あいち」は、東谷山の環境保全や登山客の利便性という観点からバイオトイレが必要であることは十分に理解できましたし、市民団体と地域で話し合い、地域ぐるみで維持管理をしていく姿勢については高く評価しました。しかし、提案内容がバイオトイレの設置に留まり、まちづくりへの発展性という観点から十分な評価を得ることができなかったと思います。地域ぐるみの環境保全型まちづくりというところに重点を置いた申請であれば、もっと高い評価を得たのでないだろうかと感じました。

「東出町内会」の申請内容は、集会所の改修工事の提案でした。お年寄りの居場所づくりやお祭りなどの開催などの町内会の活動の重要性は理解できました。しかし、集會活動は今まで社務所の方をメインに利用されており、集会所を多少広くしても、それが新しいまちづくりにどう発展していくのかという点で、十分な評価を得ることができませんでした。昨年度採択された同様の提案事業と比較して、集会所の利用頻度が低く、「これだけのニーズがあるので是非改修したい」といったことも無かったため、提案事業の必要性について十分な評価を得ることができなかったと思います。

以上、申請団体の皆様には残念な結果となってしまいました。後日、皆様には委員会より応援メッセージを送らせてもらいます。また来年度も募集することになると思いますので、再チャレンジをしていただければと思います。

14:00 閉会

会場でのアンケート結果では、ほとんどの方が「公開を続けて欲しい」と回答されました。選考会についての意見・感想では、

- ・ 若い人が頑張っていて良かった。
- ・ 目線が広がり、問題点が明確になりました。より深く地域の方とのつながり、社会貢献を考えるようになりました。
- ・ 選考基準が解らん。
- ・ その日に結果が出るのは良い。また選考委員の生の声を聞けるのが良い。
- ・ 自己資金の部分をノーリスクにすることは事実上、無理だと思う。

などの意見が出されました。

来年度以降も、皆さんの意見をお聞ききして改良していきながら、より良い選考会にしていきたいと考えています。